

令和2年4月14日

独立行政法人 日本スポーツ振興センター

新型コロナウイルス感染者に関するお知らせ

4月13日（月）、当センター国立競技場（新宿区霞ヶ丘町10-1）に勤務する職員1名が、新型コロナウイルスに感染していることが確認されました。

当該職員は、4月2日（木）の出勤を最後に4月3日（金）から休暇を取得していたところ、4月5日（日）に発熱し、自宅療養しておりました。4月8日（水）に、医療機関を受診、PCR検査を受検したところ、昨日陽性が確認されたものです。

当該職員は、4月3日（金）以降現在に至るまで保健所の指導の下、自宅療養しております。また、保健所による健康観察のもと、病状の改善、体調の回復に努めております。

国立競技場は、本年1月初旬より現在まで、東京2020組織委員会による東京2020オリンピック・パラリンピック大会の準備のための工事が行われてきたところであり、1月11日のラグビー大学選手権決勝戦を最後に、一般観客の来場を伴う施設の利用は一切行っておりません。また、当該工事も国からの緊急事態宣言等を受け、現在は中断されている状況です。

なお、保健所の見解では、発症日（4月5日）以降は、自宅療養を行っていたことから、職場を含め、国立競技場に従事する者全てにおいて濃厚接触者はいないことを確認しております。当該職員が勤務する国立競技場職場内においては、現在のところ、発熱等の症状がある職員はなく、健康観察の徹底を図っております。

関係機関の皆様にはご心配をおかけしますが、当センターとしては、引き続き感染拡大防止と職員の安全確保を最優先に、関係各所と連携し必要な対応を実施してまいります。

関係者の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。